



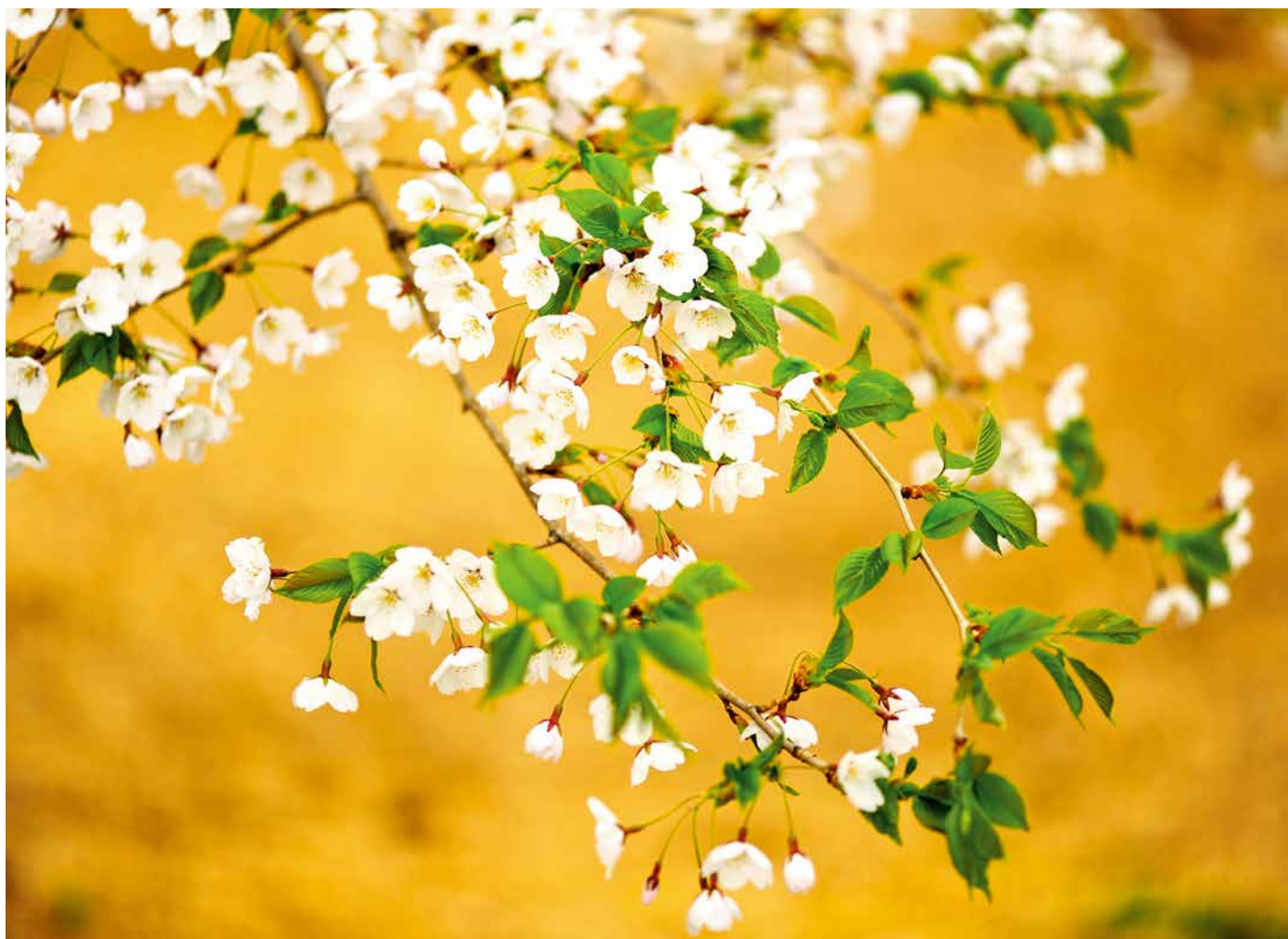
Hokkaido Lifelong Learning Association

ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



目次

●生涯学習協会「2019年度事業計画」の概要	2	●私の生涯学習	5
●2019年度ほっかいどう学かでの講座	3	●2019年度情報交流広場展示計画	5
●寄稿 エッセイ「喫茶店と私」	4	●随想45	6

生涯学習協会「2019年度事業計画」の概要

次のとおり2019年度の事業を計画いたしましたので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

会計区分	事業名	内 容
公益目的 事業(公1)	1 生きがいづくり 生涯学習促進 事業	<p>国際化・高齢化・情報化等社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために、「生きることは学ぶこと」の視点から、道民への学習の機会を提供する。</p> <p>○テーマ:「人生を共に豊かに過ごすために」</p> <p>○期 間: 5月～1月</p> <p>○会 場: 全道7会場</p> <p>○対 象: 道民、1会場80人程度</p> <p>○内 容: 講演・実技・演習等を基本に、実施市町村の計画する内容を支援する。</p>
	2 かでる講座事業	<p>道民の学習ニーズや今日的課題に焦点を絞った講座を開設し、道民への学習機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数: 10回程度 ・開催時期: 4月～12月 ・会 場: かでる2・7 ・対 象: 道民、1講座200人程度 ・講座時間: 1講座2時間 <p>○連携開催を希望する市町村にICT機器を使用した遠隔学習を実施する。</p>
	3 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ(道民カレッジ)事業の推進	<p>学習ニーズの多様化、高度化に対応するため、学ぶ意思のある道民のすべてを対象に、産学官が連携して総合的な学習機会を提供するとともに、自立した北海道の創造に寄与する人材を育成し、生涯学習のネットワーク化を図る。</p> <p>また、ジュニアコースの学びを通し、次代を担う子供たちの生きる力の育成を図る。</p> <p>○主催講座</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インターネット講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう学大学インターネット講座 「ほっかいどう学」に関する専門的な学習コンテンツを2本とDVDを制作しインターネットで配信するとともにDVDを活用する学習を支援する。 ・地域活動インターネット講座 地域活動に関する動画を2本とDVDを制作し、インターネットで配信するとともにDVDを活用する学習を支援する。 2 ほっかいどう学地方創生塾 地域の様々な機関や住民等との連携によってワークショップや講演等を実施し、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画実施者: 市町村や地元団体 ・申込み方法: 公募(決定は道教委) ・事業規模: 全道2市町村 1年目 網走市 伊達市 2年目 苫前町 上士幌町 ・事業内容: 2年間、年間5回程度 ・そ の 他: 修了者リストの作成 事業の取組みについて、ホームページに掲載し紹介。 3 地域活動実践講座 各地で活躍している道民カレッジ生の発表や実地学習を行う。「地域活動インターネット講座」との連携を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容: 札幌市以外で年1回実施 ・そ の 他: 道民カレッジ生の地域活動をホームページに掲載し紹介。 <p>○連携講座 道民カレッジに賛同する大学等や市町村、民間教育事業者等が実施する講座・セミナーを体系化し、道民に講座情報を提供し学習機会の拡充を図る。</p> <p>○普及啓発・情報提供 道民カレッジ事業の推進のため、次の普及啓発及び情報提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・道民カレッジガイドブックの作成及び配布 ・カレッジだよりの作成及び配布 ・道民カレッジポスター・リーフレットの作成及び配布 ・道民カレッジ手帳の作成及び交付 ・ホームページ及びツイッターによる適時な情報提供 </p>
	4 「道民カレッジ」インターネット講座支援事業	<p>「道民カレッジ」の主催講座である「ほっかいどう学インターネット講座」「地域活動インターネット講座」のレポート作成を支援する学習会を開催し、広く道民の学習活動を支援する。</p> <p>○レポート学習会: 動画配信後 <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所: かでる2・7ほか </p>

会計区分	事業名	内 容
	5「道民カレッジ」ボランティア活動支援事業	道民カレッジの充実と推進を図るため、道民カレッジボランティアによる自主的・自発的な活動を支援するとともに、圏域間の情報交流や称号取得者の技能等の向上を図る。 ○人 数：約80人 ○活動場所：全道4圏域 ○主な活動 ・カレッジ事業への運営協力、支援活動 ・カレッジ生の学習相談活動 ・単位取得方法及び称号取得へのアドバイス活動 ・カレッジ生の加入促進活動 ・カレッジ生間の情報交流会の活動 ・新規講座の自主的な企画、実施活動 ○主な事業 ・圏域代表者会議の実施 ・称号取得者セミナーの実施
	6 学習成果実践事業	道内各地で学習している道民が、その学んだ成果を活用して、自ら講座を企画・実施し、地域づくりを担う実践力を育成する。 また、顕著な功績が認められる実践者等を表彰する。 ○開催時期：4月～ ○開催会場：道内4会場 ○対 象：道民 ○内 容：講演・実践発表等、かでの講座の遠隔学習、インターネット講座の学習
	7 広報誌発行业務	会員及び生涯学習関係機関・団体等に広報誌を通して情報を提供し、生涯学習の振興に寄与する。 ○回 数：年4回 ○部 数：1回1,200部
	8 生涯学習情報資料の展示・提供事業（情報交流広場管理事業）	生涯学習に関する図書・資料・リーフレットなどを展示・提供するとともに、道内市町村や団体の生涯学習の取組や成果等を広く紹介する。 ・ビデオ、LD、インターネット講座DVDの視聴 ・道内市町村の広報誌及び情報リーフレットの展示 ・ガイドブック、ポスター及び連携講座関係資料の展示 ・道内市町村及び団体の学習活動に関する実践成果等の企画展示会の開催 ・道民カレッジ生の交流コーナーの活用促進 ・道民の利用に供するため、土曜日・祝日を除く平日、日曜日（9：00～18：00）に広場を開館
	9 視聴覚教材貸出事業	生涯学習活動の振興を図るため、道教委保有の視聴覚教材を官公庁、学校、社会教育関係団体等に貸出しする。 ・16ミリフィルム、ビデオ、LD、DVD

2019年度 ほっかいどう学かでの講座

No.	月	期 日	タイトル（仮）・略歴	分野
1	4	4月17日（水）	「古典落語の世界」 落語家 林家 とんでん平 氏	古典落語
2	5	5月20日（月）	「北海道ラベンダー、80年目の真実」 ～写真と証言でたどる歴史秘話～ 香りの通信舎 編集人 伊藤 由起子 氏	歴史
3	6	6月18日（火）	「涙にいのちあり、いのちに愛あり（仮）」 奈井江町 方波見医院 医師 方波見 康 雄 氏	健康
4	7	7月10日（水）	「映画音楽で甦る 映画館と名作の風景」 ～北海道に映画館が上陸し122年～ シネマエッセイスト たかやま じゅん氏	音楽
5	8	8月5日（月）	「北海道の自然とエンマムシ その分類・生態・博物館」 北海道大学総合博物館 副館長 大原 昌 宏 氏	自然
6	9	9月5日（木）	「松浦武四郎の短歌でたどる北海道」 ノンフィクション作家 合田 一 道 氏 （ほっかいどう学を学ぶ会顧問）	歴史
7	10	10月2日（水）	「幕末・明治の北海道写真」 北海道立近代美術館 学芸部 学芸企画課長 大下 智 一 氏	芸術
8	10	10月29日（火）	「北海道産米による酒づくり」 小樽田中酒造株式会社 代表取締役社長 田 中 一 良 氏	生活
9	11	11月14日（木）	「昭和のアナウンサーについて語ろう」 ～北海道の空を駆け巡った声～ 札幌アナウンスセミナー主宰 伊藤 治 明 氏 （元UHBアナウンサー）	生活
10	12	12月10日（火）	「志ある若者を育てるには」 北海道大学 名誉教授 松井 博 和 氏 （札幌農学同窓会長）	教育

喫茶店と私

亜璃西社 代表 (エッセイスト) 和田 由美

若い頃、何かといえば喫茶店のお世話になった。藤女子短大に通っていた学生時代は、北大と合同のサークルが終わった後、先輩たちに北大通りの正門前から北18条通りまで並ぶ喫茶店のどれかに連れられて行った。まだ、地下鉄が開通しない時代の北大通りには、中島みゆきの歌にも唄われた自転車屋の隣の「ライフ」をはじめ、「左文字」「結城」「ドルフィン」「コンサートホール」など、綺羅星の如く名店が点在した。みんなで何を話したのか覚えていないが、放送研究会だったからマスメディアの在り方や政治問題などについて真面目に議論していた、と思う。

やがて学生生活に慣れると、今度は独りでジャズ喫茶へ行ったり、映画館の帰りにコーヒーが美味しいと評判の店へ立ち寄り、一杯のコーヒーをじっくり楽しみながら余韻に浸ったりした。この頃は、コーヒー代（1970年前後は120円）しか持ち合わせがないので、トーストやサンドイッチなどフードメニューを頼む余裕など無かった。

当時、喫茶店のメニューで一番高価だったのは「レモンスカッシュ」で、コーヒー代の3倍ぐらいした。その通称「レスカ」を自前で飲めなかった私は、今でもレスカに恨みを持つ。だから昔ながらの喫茶店のメニューに見つけた時は、若き日の恨みを晴らすべく注文することもある。が、それほど美味しい飲み物ではない。負け惜しみで言う訳ではないけれど……。

あの時代は男女のデートも、最初は喫茶店での待ち合わせから始まった。意気投合すると大抵は映画館やボーリングへ行ったもので、今のように多様な遊びは無かった。携帯も無い時代だから、はぐれてしまうと大変。そのために喫茶店のマッチを持ち歩き、遅れる時や都合が悪くなった時には必ず電話を入れたものだ。

また、当時はコーヒーに砂糖を入れて飲むのが当たり前。スタンダードはスプーン2杯半で、女性が男性に「幾つですか？」と聞き、その数だけ砂糖を入れてあげるのが女性らしさと思われていた。（そうしなかった私のようなタイプはバツイチが多い）。時には、そう聞かれて自分の年齢を答える男性が居たし、メニュー表の「ウィンナーコーヒー」には、ウィンナーソーセージが入っていると思った人も居た。流行し始めたアメリカンコーヒーも新鮮で、南3条通りにあった名店では頑として、「お湯割りコーヒー」という呼び方をしていたものだ。コーヒーの世界も奥が深い、ということを教わったような気がする。

私も若かったが、街も若かった。今では、懐かしい思い出である。

私の生涯学習

道民カレッジ生（札幌市）

山本宏子

長い間、看護系・福祉系の仕事を続けてきた。

75歳を目前にしてそれらの仕事をやめ、家を売却し、登別から札幌へ転居してきて1年が経とうとしている。転居後、荷物整理や諸手続が一段落したとき、自由な時間が沢山あることにハタと気づいた。その時、40歳頃に専門職研修の中で「生涯学習」という言葉を初めて耳にしたのを思い出した。

“自分が必要とした時に、その必要性に応じた学習を行っていく事”と自分なりに解釈していて事ある毎に様々な学習をしてきた。

しかし、仕事と関係のない学習は、登別在籍中の最後1年間の月1回の「市の老人大学」へ友人と連れだつて参加し、その後の食事やお茶会を大いに楽しんでいた。

札幌へ来て自由時間があり、外へ出る機会を多くし何かの学習をしてみたいと思い立った。

さっそく情報収集のため、札幌市の地図を購入し、地下鉄の乗り方を教わり、かでの2・7の「女性プラザ」を目指し一人で出かけた。

女性プラザの係の女性に相談し、平成30年度開講間もない「ほっかいどう学かでの講座」への参加が可能とのことで、即申し込みをし5月から毎月参加している。

参加してびっくり、講義のテーマや講師陣が多彩で内容が濃く、2時間の講義があつという間に終わりになってしまっている。参加者も大勢で、すべての面で登別とのスケールの違いをまざまざと感じている。

今は毎日見る新聞やテレビのニュース等も、学習したことを思い出しながら注意深く読み取る様になってきた。「かでの講座」をきっかけに「女性大学」や「シニアライフ」のレクリエーションにも参加し、今までに感じたことのない自分だけのための時間をエンジョイしている。

今後は、平均寿命までに10数年あり、健康寿命が取りざたされる中、自分がどのように生きていけば良いのか、また終活といわれる事柄をどう実践していくのかの学習もしていきたいと考えている。

■■■ 2019年度情報交流広場（まなびの広場）展示計画 ■■■

月	実施期間	実施団体名	展示テーマ
4	4/9（火）～4/26（金）	一般財団法人 北海道歴史文化財団 （北海道開拓の村ボランティア）	北海道を知ろう！伝えよう！ 北海道開拓の村ボランティア
5	5/9（木）～5/29（水）	石狩市 いしかり市民カレッジ （いしかり学びをつくる会・石狩市教育委員会）	「いしかり市民カレッジ」で学びませんか？
6	5/29（水）～6/28（金）	北海道立青少年体験活動支援施設	道立青少年体験活動支援施設 ネイバルPR展
7	7/1（月）～7/12（金）	一般社団法人 ガールスカウト北海道連盟	ガールスカウト北海道連盟活動展示会 ～私が変わる。未来が変わる。～
	7/12（金）～7/31（水）	一般財団法人 北海道文化財保護協会	名作歌舞伎の世界
8	8/1（木）～8/30（金）	北海道立埋蔵文化財センター指定管理者 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター 平成30年度発掘調査成果パネル展
9	9/2（月）～9/30（月）	札幌市中央区健康友の会 絵画サークル たんぽぽ	身近な自然風景を楽しんで
10	10/1（火）～10/15（火）	さっぽろ植物画同好会	ボタニカルアート展
	10/16（水）～10/31（木）	一般財団法人 北海道文化財保護協会	文化財啓発おもしろ絵手紙
11	11/1（金）～11/29（金）	北海道立図書館	北海道の灯台展（仮）
12	12/2（月）～12/27（金）	北海道特別支援教育センター	特別支援学校作品展
1	1/7（火）～1/31（金）	一般財団法人 北海道歴史文化財団 （北海道開拓の村ボランティア）	北海道を知ろう！伝えよう！ 北海道開拓の村ボランティア
2	2/3（月）～2/28（金）	北海道心の教育推進会議	心の教育推進キャンペーン強調月間展
3	3/2（月）～3/31（火）	写真集団 はまなす	2019年度写真集団はまなす 写真展

随想45

嫌煙権と喫煙儀礼

喫煙歴50年余のつけがついに喉頭癌となって私を襲ったのは5年半前の2013年のことであった。そして禁煙したが、特に嫌煙を叫ぶつもりはない。近年の受動喫煙からの嫌煙権の主張は、厚生労働省の改正健康増進法の提示で加速している。それはファミリーレストランなどの大型飲食店での原則禁煙であるが、100㎡以下の小規模飲食店での分煙などは許されるらしい。酒と音楽・本などと紫煙が切り離せないという人にとっては、せめてもの慰みであろう。

そもそも煙草を世界中に広めたのはあのコロンブスと考えられ、1492年にカリブ海西インド諸島の一つのサンサルバドル島に到着し、先住民である南米インディアンのアラワク族から友好の印として香り高い乾燥した葉＝煙草を贈られたという。そして16世紀後半までにはスペイン・ポルトガル・イギリス・フランスなどの欧州諸国に拡散し、日本では16世紀末に喫煙習俗が知られ、1600年前後にはかなり広まったとされる。

ところでインディアン諸族は、立ち上る煙が天上の「大いなる神秘」への捧げものと考え、すべての決め事や物事の節目に「聖なるパイプ」と煙草の回し飲みという共同喫煙を行ったという。そ

して和平交渉や取引などの場面でもパイプの回し飲みをするという喫煙儀礼が必ずあったらしい。

このような共同喫煙行為は日本でも見られ、仲のよい人の中で親しみを表す意味で煙管で吸いかけの煙草をやりとりしたとされている。「煙管受取り渡しの儀礼」とも言われ、それが北海道のアイヌにも伝わっている。17世紀半ばには恐らく本州経由で喫煙儀礼が伝播しているのである。

では北東アジアにおける先住民族の喫煙儀礼について少しみておこう。北海道アイヌでは客に対する煙管の受渡し儀礼が記録されているが、サハリアイヌでも客が主人の煙管を受け取り、自分の煙草を詰めて返し、その逆の行為も記録されている。儀礼的な対面の挨拶である。ニヴヒは、喫煙の楽しみを他人と共有するのが好きであるとされ、しばしば〈主〉や霊への供犠として捧げられたと伝えられる。チュクチも同様らしい。そして北方ツングースのエヴェンキの間でも煙管の受渡し儀礼が見られるという。また、シャーマンが煙草という媒介物を通して神がかり状態になるチュクチやサハのような事例もあるらしい。

今回はインディアンほかの喫煙儀礼の一端を紹介してみたが、他人の迷惑にならないような喫煙を心がけようではありませんか。

(公財) 北海道生涯学習協会
会長 宇田川 洋

事務局からのお知らせ

●賛助会員を募集しています

当協会では、会員の皆様のご支援ご協力により各事業を実施しております。

つきましては、当協会の賛助会員を募集しておりますので、よろしくお願ひいたします。

※賛助会員（個人 一口3,000円、団体 一口10,000円）

詳しくは事務局までご連絡ください。

(札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7

TEL011-281-6661)

●表紙写真提供 三原和廣氏



編集後記

野山も雪解けをはじめ、水ぬるむ季節となりました。春を迎えると何か新しいことなどを始めたい気分になったりします。

皆様のご理解とご協力により、当協会の平成30年度の事業はすべて終えることができました。

今号には、2019年度の事業計画の概要を掲載させていただきました。

次年度もこの計画に基づき、より充実した事業となるよう努めて参りますので、引き続き皆様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。